

# 防コミの歩き方



## 一步未来に踏みだす防災活動

### ●エリア紹介

山の手ふれあいのまちづくり協議会防災部会は平成14年3月に結成され、花隈町、下山手通5～6、中山手通5～7、山本通5、諏訪山町、再度筋町からなり、約4,400世帯が生活しています。南部地域には花隈城跡があり、飲食店や事務所が多くあります。西部地域は震災後に建設されたマンション、北部には静寂な住宅街があり、山麗部は再度谷の源流付近にまで達しています。

### ●もしもの時へ備えた防災訓練

私たちの地域は、阪神大水害や阪神・淡路大震災などさまざまな自然災害が過去に発生しています。自然災害はいつ発生するかわかりません。

普段、生活していて当たり前と思っていることが、当たり前でなくなった時に備え、地域で知恵を出し合い、共に生きていくために防災訓練の実施をしています。

また、防災訓練の参加者が固定化しないように、訓練の案内方法と訓練内容を防災

部会で話し合いながら工夫するよう努めています。たとえば、令和元年9月に実施した防災訓練では、分譲型タワーマンションや100戸以上の大規模集合住宅の居住者に対して、訓練案内チラシを約1,800枚配布し参加を呼びかけました。訓練内容は、家庭内や近所の立ち話で話題にもらえる近年の災害傾向や、ジャッキを使用した救助訓練やロープ結索等、いざという時に使える技を盛り込んでいます。

### ●これからに向けて

将来、災害が発生した時に「あの時こうしていれば…」という思いを抱かない・抱かせないために、災害を経験したことがない人へ経験を伝えていきます。

ただ伝えるのではなく、受け手の人生に生かせるように伝えたい。「今」できることを地域全体でおこなっていきます。

さあ、皆さんもご自身の地域活動に参加してみませんか？

(山の手ふれあいのまちづくり協議会  
防災部会 部会長 鈴木 康弘)

